

平成23年第2回定例会
健康福祉病院常任委員会

説明資料

【議案補充説明資料】

◇ 議案なし

【所管事項説明資料】

	頁数
1 平成23年度マネジメントシートについて	
（1）病院事業庁長マネジメントシート	1
（2）総合医療センター院長マネジメントシート	3
（3）こころの医療センター院長マネジメントシート	5
（4）一志病院院長マネジメントシート	7
（5）志摩病院院長マネジメントシート	9
2 平成22年度病院事業決算の概要について	11

平成23年6月21日

病院事業庁

【所管事項説明】

1 平成23年度マネジメントシートについて

(1)平成23年度 病院事業庁長マネジメントシート

病院名	三重県病院事業庁			
ビジョン	良質な医療の安定的、継続的な提供をすることで、医療面から地域の安全・安心を支援することにより、県民が			
経営方針	県立病院として、県の医療政策を踏まえ、住民ニーズに対応した地域医療サービスを維持、発展させることによ			
区分	経営シナリオ	戦略目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標
顧客の視点		信頼される県立病院の役割・機能の発揮 高度専門、救急医療の提供・確立 医療機関等との連携強化・先進的モデル的医療の取組 安全・安心な医療の提供 県医療水準向上のための人材育成	患者満足度の向上 救急医療の充実 高度専門医療の充実(がん診療連携拠点病院機能の充実) 地域医療支援機能の充実 医療事故の防止 研修医の受入 看護師等実習生の受入	患者満足度 救急患者受入数 がん手術件数(総合医療センター) 紹介患者数 医療過誤数 新臨床研修医受入人数 シニアレジデント受入人数 看護実習生等受入人数
財務の視点		県立病院の健全経営	経常収支均衡 資金収支均衡 職員給与比率の適正化 病床稼働率の向上	経常収支比率 職員給与対医療収益率 病床利用率
内部プロセスの視点		医療スタッフが来なくなる魅力ある病院づくり 危機管理と改善・革新に向けたマネジメントシステムの確立・充実 新しい経営形態への円滑な移行	人材の確保・定着 災害医療体制の構築 リスクマネジメントの確立実践 志摩病院内外における調整、体制づくり 総合医療センターの組織・運営体制等の確立	医師充足率 看護師充足率 災害時の医療支援訓練実施回数 医療安全委員会の開催回数 指定管理者への円滑な引継ぎ 独立行政法人の中長期計画案の策定
学習と成長の視点		動機付けされ、能力アップした職員の育成 チーム力を最大にするコミュニケーションの向上 一人ひとりの職員力を伸ばす専門能力の向上 県立病院改革に関する対話の推進	職員満足度の向上 専門能力の向上(スキルアップ) 改善活動の定着	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的回答割合 職員満足度の向上に向けた取り組みによる改善件数 職員アンケート「プロとして成長しているか」の設問での「はい」の割合 新規資格取得者数 TQMの活動件数
		安定的、継続的な医療の提供	関係者に対する県立病院改革についての十分な説明	県立病院改革に関する住民説明会の開催回数
		県立病院の健全経営	経常収支均衡 資金収支均衡 職員給与比率の適正化 病床稼働率の向上	経常収支比率 職員給与対医療収益率 病床利用率
		医療スタッフが来なくなる魅力ある病院づくり 危機管理と改善・革新に向けたマネジメントシステムの確立・充実 新しい経営形態への円滑な移行	人材の確保・定着 災害医療体制の構築 リスクマネジメントの確立実践 志摩病院内外における調整、体制づくり 総合医療センターの組織・運営体制等の確立	医師充足率 看護師充足率 災害時の医療支援訓練実施回数 医療安全委員会の開催回数 指定管理者への円滑な引継ぎ 独立行政法人の中長期計画案の策定
		動機付けされ、能力アップした職員の育成 チーム力を最大にするコミュニケーションの向上 一人ひとりの職員力を伸ばす専門能力の向上 県立病院改革に関する対話の推進	職員満足度の向上 専門能力の向上(スキルアップ) 改善活動の定着	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的回答割合 職員満足度の向上に向けた取り組みによる改善件数 職員アンケート「プロとして成長しているか」の設問での「はい」の割合 新規資格取得者数 TQMの活動件数
			職員に対する県立病院改革についての十分な説明	県立病院改革に関する職員説明会の開催回数

ら信頼・支持される県立病院づくりを行います。

り、地域の安全・安心を医療面から支援するとともに、県立病院改革を着実に推進します。

H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	H23年度に実践するアクションプラン
81.6%	83.6%	85.0%	・患者様アンケートの分析、改善活動 ・医療機関、県民等を対象とした研究会、講演会、セミナー、病院祭、メディカルスクール等 地域医療の水準向上、開かれた病院運営等の積極的な実施
21,062人/年	19,120人/年	18,850人/年 (18,650人/年)	・広域的な救急医療の提供体制の確立 ・志摩地域における救急医療の提供体制の回復 ・精神科救急受け入れ態勢の充実
531件	494件	500件	・集学的がん治療情報の提供 ・地域へのがん情報の発信
12,600人 /年	12,210人 /年	12,340人 /年	・病病、病診連携等地域連携の推進 ・地域の他の医療機関、医科系大学や関係機関・団体等との連携・協力関係の強化
0件/年	0件/年	0件/年	・事故防止のための組織の充実 ・新型インフルエンザ対策の確立及び充実
31人/年	20人/年	19人/年	・臨床研修医のための研修環境改善事業の実施 ・臨床研修医の受入体制の充実
19人	21人	20人	・シニアレジデントの受入体制の確立
6,485人/年	7,896人/年	7,776人/年 (7,376人/年)	・看護学生を対象とした看護実習の充実 ・研修指導医、看護実習指導者等の育成
—	—	2回	・地域住民や関係機関、職員に対する十分な説明
95.2%	97.7%	92.4% (91.6%)	・年度計画(こころ、一志)、当面の運営方針(総医、志摩)の進捗管理
66.9%	66.3%	69.3% (69.4%)	・4病院の医業収支比率の改善 ・資金不足に対する対応(一般会計からの長期借入金や出資の受入等による資金確保の検討)
69.5%	67.2%	67.8%	・稼働病床数の回復 ・未収金回収対策の充実 ・創エネ、省エネの推進
76.2%	73.8%	100.0%	・医師確保(県医療政策室との連携、複数養成機関への医師派遣要請、公募等) ・勤務医にとって魅力や働きがいのある職場環境づくり(医師の研修環境の充実、学会等への参加の柔軟化や良好な住環境の確保等)
93.7%	95.3%	100.0%	・看護師確保定着事業の実施(修学資金制度の周知・活用、看護実習や新人看護師への技術支援体制の充実等)
4回/年	8回/年	7回/年	・医療事故や自然災害などを想定した図上訓練の実施等 ・災害支援体制の確立(DMAT資機材や院内備蓄の整備、充実)
47回	48回	48回	・医療安全対策・感染対策の充実、マニュアルの適切な運用・不断の見直し・検討 ・個人情報管理等安全確保のための組織の充実
—	—	完了	・指定管理者制度導入に向けた調整、体制づくり ・指定管理者への医師の前倒し派遣の要請
—	—	策定	・総合医療センターの独立行政法人化への諸準備(法人運営組織の検討、中期計画の策定、人事給与及び財務会計システム開発等)
—	60.7%	—	・常に笑顔で接し、ユーモアという言葉を意識して管理職が率先して職場の空気を和らげる ・常に意思疎通を図り、風通しのよい組織づくり ・BSCを活用した「全職員参画型」経営システムの推進 ・職員アンケート結果による職場改善の検討、実施
12件	10件	10件	
—	10.8%	—	・研究・研修環境の整備・充実、研究発表の推進(専門分野での資格取得のための支援、研修体系の整備、研修機会の確保と活かせる環境の整備、研究研修費の確保、等)
21人	19人	20人	
35件	33件	30件	・TQM活動を中心とした「常に改善を続ける」職場風土の醸成 ・病院事業庁TQM大会の開催
—	24回	20回	・職員に対する十分な説明

※H23目標値の括弧書きは、平成23年度年度計画及び当面の運営方針の目標値を見直した場合における同目標値

【所管事項説明】

(2)平成23年度 総合医療センター院長マネジメントシート

病院名	総合医療センター		
ビジョン	県の医療施策をリードし、県民や医療機関から選ばれる病院づくりを行います。		
経営方針	救命救急、高度・特殊医療等を提供するとともに、地域との連携を図りながら、安全・安心で県民準備を行います。）		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の 視点	<p>・地域医療との連携 ・病院機能の充実</p> <p>・救命救急、高度医療等の提供 ・がん医療の提供 ・災害医療センター</p>	心臓・脳血管疾患治療の向上	冠血管治療数 脳血管治療
		救急・高度医療の提供	救急医療の実績
		がん治療の向上	がん治療への取り組み
		地域医療との連携	地域医療機関の信頼度
		県民の評価	アンケート評価
財務の 視点	<p>医療収支の改善</p>	医療収支の改善	医療収支比率の改善
内部プ ロセス の視点	<p>医療の標準化</p> <p>・高度医療体制の整備 ・救命救急センター機能の維持 ・医師、看護師等の育成</p> <p>・地域連携の推進 ・病院情報の開示 ・県立病院の使命</p> <p>医療スタッフの充実</p> <p>職員満足度の向上</p> <p>コミュニケーションの改善</p> <p>職員のスキルアップ</p>	がん医療体制の整備	がん治療体制の充実
		県内医療従事者の育成	卒後研修の充実 県内医師定着 看護実習生の積極的受入
		災害・救急医療のレベルアップ	救急救命士・看護師の育成 DMAT研修
		地域連携の推進	医療連携体制の構築
		病院情報の管理	病歴情報のデータベース化
		医療の標準化	医療の標準化に向けたクリパスの推進
		医療スタッフの充実	看護師の定着
学習と 成長の 視点	コミュニケーションの改善	職種間連携の実施	
	職員のスキルアップとモチベーション向上	人材育成の制度化	

に信頼され、自立できる病院を目指します。(あわせて、平成24年度からの地方独立行政法人化に向けた

業績評価指標	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	H23年度に実施するアクションプラン
PCI+冠動脈バイパス手術数 t-PA+脳血管手術数	161 133	217 130	220 180	・手術実績の向上 ・治療成績の開示と高度医療の導入 ・地域への情報発信力強化
救命センター入院患者数 救急患者受入数 NICU利用延べ患者数	4,705人 14,812人 867人	4,503人 14,374人 771人	5,000人 14,000人 830人	・三次救命救急体制の充実 ・地域周産期母子医療センターとしての高度な新生児医療への対応
がん手術件数	531	494	500	・集学的がん治療情報の提供 ・がん患者相談窓口とセカンドオピニオンの実施 ・地域へのがん情報の発信、がん市民公開講座の定期開催
紹介患者数	5,731人	5,747人	6,000人	・地域医療支援病院の指定承認に向けた地域連携の推進による紹介率の向上(セミオープンベット、紹介予約外来制の推進、広報誌への連携機関の掲載等) ・病診連携検査の取組強化(エコー、GF等)、高度先進機器導入のPR
当院推薦率(「推薦する」の回答率)	85.0%	86.7%	87.0%	・患者アンケート調査の実施と検証 ・接遇委員会の定期開催
医業収支比率 経常収支比率 職員給与対医業収益比率 病棟稼働率 〔 〕は実稼働病床数対比	90.7% 96.2% 56.4% 63.0% 〔84.6%〕	97.7% 103.5% 53.7% 66.1% 〔88.8%〕	91.1% 96.8% 56.7% 69.3% 〔93.1%〕	・DPC運用による診療体制の整備、在院日数の適正管理 ・後発医薬品の使用率向上 ・同種同効医薬品・材料使用の推進による材料費コストの縮減 ・X線フィルムレス化の更なる推進 ・病床管理の一元化、効果的・効率的な病棟運営 ・稼働病床数の増床(下半期に20床程度)
化学療法件数	4,585	4,937	5,000 (4,800)	・地域がん診療連携拠点病院としての体制充実 (がん診療評価委員会(がんセンターボード)の活用、化学療法室の運用、がん地域連携クリニカルパスの整備、がん市民公開講座の開催等)
初期研修医数 後期研修医数 看護実習生受入数	20人 9人 2,807人	17人 13人 4,223人	16人 12人 4,000人 (3,600人)	・医師の卒後教育と専門教育の推進 ・国内各機関への研修推進 ・実務経験豊富な看護指導者による実習指導の実施
災害医療研修会	2回	2回	2回	・講習会の開催(救急、感染症、災害医療等)と救急救命士実習生等の受入 ・災害医療救護班の整備、派遣(東日本大震災等)
地域連携クリニカルパス 適応件数 退院調整患者数 医療機関、県民を対象とした研究・講演会の実施回数 退院患者カルテ入庫率	159件 754人 12回 91.2%	160件 734人 12回 90.3%	165件 750人 12回 95.0%	・地域連携クリニカルパス適用種類の拡大、活用、推進 (大腿骨頸部骨折、脳卒中、心筋梗塞、乳がん、大腸がん等) ・地域連携室の早期からの支援による効率的な退院調整の実施 ・地域への情報発信力強化 (研究会・講演会の開催、担当医師の紹介、情報誌の発行等) ・診断群分類別包括評価(DPC)病院としての取組推進 (カルテ入庫率アップに向けた定期的な取組)
クリニカルパス利用率	30.3%	26.7%	32.0%	・DPC運用と連動したクリニカルパスの見直し ・DPC分析による診療行為・投入資源の検証及びクリニカルパスの改善・合理化
看護師定着率	91.7%	91.6%	92.0%	・院内全体の取組による看護師定着への支援
チーム医療推進 プロジェクトチーム数	3チーム	3チーム	3チーム	・チーム医療としての各部門横断的な取組(NST、IGT、緩和ケア) ・OJT(カンファレンス、看護技術向上)の充実
新規資格取得者数	8人	7人	6人	・認定看護師等専門スタッフの育成 ・研修医、学生等への実習指導の充実 ・TQM活動の推進

※H23目標値の括弧書きは、平成23年度当面の運営方針の目標値を見直した場合における同目標値

【所管事項説明】

(3)平成23年度 こころの医療センター院長マネジメントシート

病院名	こころの医療センター		
ビジョン	県民のより良いこころの健康をめざし、三重県の精神科医療をリードします。		
経営方針	精神科急性期医療の拠点病院として整備充実し、患者様や地域関係機関等からのニーズに対応		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の 視点		<p>開かれた病院経営</p> <p>早期社会復帰の推進</p> <p>社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供</p> <p>◎重点取組事項</p>	<p>ステークホルダーとの協働</p> <p>新患者の寛解率の向上</p> <p>精神科救急・急性期医療の推進</p> <p>地域生活支援体制の充実</p> <p>地域医療機関との連携</p> <p>精神科早期介入の推進</p> <p>県民ニーズの高い精神科医療の取組</p>
財務の 視点		<p>医業収支改善</p>	<p>医業収支比率の改善</p>
内部プ ロセスの 視点		<p>◎重点取組事項</p> <p>県立病院改革</p> <p>救急急性期治療病院への体制整備</p> <p>精神科倫理に則った病院運営</p>	<p>防災対策の見直し</p> <p>病院改革に伴う体制整備</p> <p>常時急性期患者受入体制の確立</p> <p>精神保健福祉法遵守 医療安全感染管理の徹底</p>
学習と 成長の 視点		<p>◎重点取組事項</p> <p>専門性の向上</p> <p>三重県の精神科を リードする取組</p>	<p>人材育成の充実取組</p> <p>専門能力を身につけた職員の増加</p> <p>精神科医療スタッフの育成</p>

すべく、精神科専門医療を充実することによって、県民から愛され信頼される病院づくりを目指します。

業績評価指標	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	アクションプラン
運営モニター会議のリニューアル・実施	— 1回	— 2回	見直し 2回 (1回)	・運営モニター会議の方向性や運営スタイルの抜本的リニューアル ・病院運営における当事者やステークホルダーの意見の反映、院内職員参加意識の醸成
新患者の寛解率	61.0%	57.4%	60.0%	・早期、急性期医療の充実。地域生活支援体制の推進
救急患者受入患者数	209人 ／年	228人 ／年	225人 ／年	・精神科救急受け入れ態勢の確保 ・医師当直手当の見直し検討、事業庁への手当改正協議実施
長期入院患者(5年超)の退院数	3件	5件	5件	・地域移行支援事業(退院促進事業)の活用
長期入院患者の多職種チーム医療	4件	7件	10件	・リハビリパスの院内普及
紹介率	58.5%	55.4%	58.0%	・地域医療機関への訪問
医療機関訪問件数	300件	175件	150件	・地域連携ミーティングの開催
早期介入対応件数	14件	59件	60件	・早期介入拠点(YMSC/MIE・YAC)の広報充実、ケースマネジメント体制の確立
こころしっこセミナー件数	25件	28件	25件	・精神科医療取組の広報・啓発等
地域精神保健医療体制検討会設置	—	—	設置	・地域精神保健医療体制検討に向けた準備会の設置
病院機能再編実施アクション	—	—	機能再編 検討	・病院機能再編実施プランの策定、H24当初予算への反映、組織体制の確立
医業収支比率	81.8%	81.3%	80.0% (79.6%)	・診療報酬制度改定に対応した、精神科専門治療の充実 ・精神科特定入院料の算定
経常収支比率	109.0%	109.2%	107.8% (102.8%)	・収支改善に向けた病院機能の検討 ・診療報酬検討委員会の開催
職員給与費比率	80.6%	81.8%	82.0% (83.6%)	・病棟機能の明確化と病棟間の連携 ・アルコールデイケアプログラムの充実
病床稼働率	83.9%	83.5%	83.8% (82.8%)	・認知症病棟の運営在り方検討
アルコール病棟一日平均患者数	32.7人	30.9人	32.0人	
認知症病棟一日平均患者数	37.6人	42.1人	42.0人	
外来一日平均患者数	233.6人	247.3人	245.0人 (235.0人)	
東日本大震災を踏まえた防災対策の見直し検討	—	—	完了	・現防災マニュアルの抜本的見直し、検討委員会の設置
単独地方公営企業全部適用に向けた準備検討	—	—	完了	・病院事業庁との検討ワーキングの設置
措置鑑定対応件数	52件	21件	30件	・県障害福祉室・保健所等との連携、院内救急体制整備
職員倫理研修会の開催	1回	1回	1回	・精神科倫理意識の向上取組
医療安全研修会参加率向上	37.0%	70.0%	80.0% (60.0%)	・医療安全意識の醸成、研修参加機会供与の提供
院内研修センターの設置	—	—	設置	・院内研修センターの設置に向けた取組
研修集約・年度計画表の作成	—	—	作成	・各種研修の集約、研修プログラムの構築、年度計画表の作成
研究研修費を使った研修・視察時の院内報告会の義務づけ	—	—	6回	・復命書作成だけでなく、院内において簡易報告会を開催し、知識・情報伝達の間を設定(研修センター主催の伝達研修として位置づけ)
人材育成研修開催数	2回	2回	2回	
看護実習等受け入れ数	2,249人	2,130人	2,350人	・院内受け入れ体制の整備 ・研修プログラムの見直し、充実

※H23目標値の括弧書きは、平成23年度年度計画の目標値を見直した場合における同目標値

【所管事項説明】

(4)平成23年度 一志病院長マネジメントシート

病院名	一志病院		
ビジョン	地域の医療ニーズに応えるため、家庭医療を核とした地域医療モデルを確立し、安心して暮らせる地域医療を担う家庭医育成の中心的役割を担い、県内への医師定着に貢献します。		
経営方針	医療の質、医療のサービス向上に努め、患者満足度の高い医療を目指します。 家庭医療を診療の中心とし、地域特性からくる幅広いニーズに応えます。 当院を研修フィールドとする人材育成の体制を整備します。		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の視点		幅広いニーズに応えた医療の提供 顧客満足度の高い医療の実践	かかりつけ患者の増加 入院患者の増加 患者及び家族の満足度向上
財務の視点		経営の健全化	収支の改善
内部プロセスの視点		幅広いニーズに対応できる体制の維持 家庭医療提供体制の確立 地域医療を担う人材の育成 院内体制の整備	診療体制の確保 (家庭医の確保・定着) 在宅医療の充実 一次救急医療体制の確立 予防医療の啓発推進 予防医療の実践 入院患者受入体制の充実 研修医の受入れ体制の充実 看護師等育成の支援 入院施設基準の維持 施設基準の向上
学習と成長の視点		専門能力の向上 モチベーションの向上	医療従事者の能力向上 職員満足度向上

域づくりに貢献します。

業績評価指標	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	アクションプラン
内科(家庭医療)外来受診者数(予防医療含む)	80人/日	98人/日	101人/日	・家庭医療を中心とした外来診療体制を維持する。 ・家庭医療の実践により内科患者数の増加を図る。 ・予防医療への意識啓発を通じ予防医療受診者の増加を図る。
一般病棟入院患者数【病床稼働率】	31.6人/日【68.8%】	34.9人/日【75.8%】	35.0人/日【76.1%】 34.0人/日【73.9%】	・診療所、福祉施設、他の急性期病院等との連携を強化し、紹介患者数の増加を図る。
患者アンケート「親しい人や家族が病気になる時、当院を推薦するか」項目の推薦率	78.2%	80.6%	81.5%	・患者様アンケートを通じ患者様のニーズを把握し、サービス改善に取り組む。 ・接遇研修を実施し、職員の接遇能力の向上を図る。 ・接遇委員会活動を通じ改善すべきことを明らかにし改善に取り組む。
経常収支比率	98.7%	105.6%	96.5% (99.1%)	・入院、外来患者数の増により収益増を図る。 ・予防医療受診者の増により収益増を図る。
職員給与費対医業収益比率	92.7%	84.4%	94.7% (86.8%)	・訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションの件数増により収益増を図る。 ・材料費、経費等の節減に努めることにより費用減を図る。
医業収支比率	64.0%	71.4%	62.7% (69.6%)	・業務改善に取り組むことにより費用減を図る。
1月当り常勤家庭医数	5人	5人	5人	・三重大学との連携を維持・強化し、常勤医師を確保する。
訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション件数	436件	988件	1,260件 (1,000件)	・関係医療機関、保健・福祉機関との連携を図る。 ・人員体制を強化し、訪問看護、訪問リハビリテーションの件数増を図る。
一次救急患者受入れ件数(救急車搬送患者を除く)	631件	765件	825件	・宿日直体制を維持し一次救急患者を積極的に受け入れる。
健康教室・糖尿病教室等参加者数	533人	480人	520人	・広報誌やホームページ等によりPRする。 ・セクションを超えた協力体制により実施する。
予防医療受診件数(血液サラサラ検査・人間ドック・健康診断)	1,673件	1,720件	1,700件	・住民健診、がん検診等をPRするとともに積極的に受け入れる。 ・広報誌により血液サラサラ検査、禁煙外来をPRする。
診療所等からの紹介入院患者数	178人	150人	162人	・診療所、他の急性期病院等との連携を強化し、受け入れ可能な入院患者を積極的に受け入れる。
1ヶ月当り研修医受入人数	2.25人	2.25人	2.25人	・指導医による人材育成体制を維持し、研修医を積極的に受け入れる。
看護実習等受入人数(実人数)	27人	32人	26人	・看護師等育成に取り組む機関等と連携し、院内実習等を通じ人材育成の支援を行う。
平均在院日数(亜急性期除く)	20.4日	21.2日	24日以内	・病床管理委員会を定期的に開催し、適正な病床管理に努める。
新基準取得、上位基準転換件数	0件	1件	2件 (1件)	・新基準取得、上位基準転換に必要な体制整備を行う。 ・診療報酬勉強会等を通じ施設基準に対する職員の意識を高める。
院外研修参加者割合	66.7%	59.5%	72.5%	・研修に参加する意欲のある職員を積極的に参加させる。 ・院内研修会やカンファレンスを通じ職員の能力向上意欲を高める。 ・研修に参加しやすい職場環境を整える。
職員アンケート「自由な意見を言える雰囲気」、「仕事のやりがいがあるか」	2.68 2.56	2.76 2.73	それぞれ 3.0以上	・コミュニケーションをとりやすい職場づくりに取り組む。 ・評価制度、改善活動、職員提案を推進し、職員個人のやりがいの向上を図る。 ・フリートーク、マネジメントシート等を活用し情報共有を推進する。

※H23目標値の括弧書きは、平成23年度年度計画の目標値を見直した場合における同日目標値

(5)平成23年度 志摩病院長マネジメントシート

病院名	志摩病院		
ビジョン	地域の住民や観光客に良質な医療を提供するとともに、へき地医療拠点病院、災害拠点病院機能		
経営方針	良質な医療を安定的・継続的に提供するため、地元医師会・病院等との連携による地域医療体制への円滑な移行を図ります。		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の視点	<p>安心できる地域医療体制の提供</p> <p>地域医療機関との診療連携の強化</p> <p>高度医療の提供</p> <p>災害医療の提供</p> <p>地域救急医療体制の提供</p> <p>へき地医療の支援</p> <p>政策医療の提供</p> <p>妊産婦のサポート</p> <p>精神科医療の提供</p> <p>地域に求められる医療の提供</p> <p>政策医療の提供</p>	<p>安心できる地域医療体制の提供</p> <p>政策医療の提供</p> <p>地域に求められる医療の提供</p>	<p>地域救急医療体制の提供</p> <p>地域医療機関との診療連携の強化</p> <p>高度医療の提供</p> <p>へき地診療所信頼度の向上</p> <p>災害医療の提供</p> <p>妊産婦のサポート体制の提供</p> <p>精神科の充実</p>
財務の視点	<p>経営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 病床稼働率の確保 経常収支比率の改善 人件費比率の改善 	<p>経営の改善</p>	<p>病床稼働率の確保</p> <p>経常収支比率の改善</p> <p>人件費比率の改善</p>
内部プロセスの視点	<p>人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療スタッフの確保、育成 未来の医療人の養成 <p>医療安全の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故防止体制の確保 <p>地域医療連携体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携体制の推進 救急医療体制の維持・強化 <p>地域と協働する病院づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民参加イベントの開催 出前講座の開催 <p>病院改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度への円滑な移行 	<p>人材の育成</p> <p>地域と協働する病院づくり</p> <p>地域医療連携体制の確立</p> <p>医療安全の確立</p> <p>病院改革の推進</p>	<p>医療スタッフ確保・育成体制の整備</p> <p>住民参加イベント開催・中長期的人材育成</p> <p>地域の要望に対応した出前講座開催</p> <p>地域医療連携体制の推進</p> <p>救急医療体制の維持・強化</p> <p>医療事故等防止体制の確保</p> <p>指定管理者制度への円滑な移行</p>
学習と成長の視点	<p>職員満足度の向上</p> <p>専門能力の向上</p> <p>職員のモチベーション向上</p>	<p>専門能力の向上</p> <p>職員のモチベーションの向上</p>	<p>研修(資格取得支援)体制の充実</p> <p>経営意識の向上</p> <p>職員間・職種間のコミュニケーション活性化</p>

を担い、県民の安全と安心に貢献します。

の確保、政策医療の提供及び人材の確保育成に努めるとともに、次年度から導入される指定管理者制度

業績評価指標	H21 実績値	H22 実績値	H23 目標値	アクションプラン
救急患者数	5,410	3,753	3,800 (3,600)	・地域医師会、病院、行政機関等との連携による地域救急医療体制の確立 ・広範囲な医師確保対策の実施(インターネット求人サイト活用等)
紹介患者数	5,102	4,654	4,500	・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実 ・紹介元診療所等への積極的な情報提供
逆紹介患者数	4,281	3,829	3,600 (3,400)	・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実 ・紹介先診療所等への積極的な情報提供、フォロー
内視鏡検査延件数	2,086	1,938	1,900	・病診・病病連携による高度医療の効率的な提供 ・実績・効果の情報提供
代診医派遣率	100%	100%	100%	・へき地診療所からの派遣依頼の調整 (登録医の充実、診療所等との情報交換など)
災害対応訓練の実施	2	2	2	・消防署等関係機関との協働による災害訓練の実施 (災害医療チーム編成、図上訓練など)
助産師外来相談等件数	40.4件/月	70.0件/月	70件/月	・地域のニーズに応える取組<地域の妊産婦が安心できる身近なサポート> (妊娠・分娩・育児に関する指導や相談、各医療機関との連携など)
パパママ教室等開催件数	15	16	12	
こころの外来患者数	33.9人/日	33.6人/日	33人/日	・地域のニーズに応える取組<地域で唯一の精神科病床保有病院> (県内の精神科病院、施設との連携強化、地元保健所等との連携強化など)
一般病床利用率	60.0%	42.7%	43.2% (40.8%)	・病床管理の徹底 ・DPC分析による適切な在院日数管理
精神科病床利用率	95.9%	93.7%	85.0% (96.0%)	・合併症患者の一般病床との転棟管理 ・精神・精神療養病とのバランスの取れた運用、積極的な退院調整等適正な病床管理
経常収支比率	84.4%	76.1%	71.4% (71.0%)	・適正コーディング、効率的な外来連携などDPC制度の十分な活用 ・新たな診療報酬の確保等収益性の向上に向けた取組 ・SPDによる材料費の適正管理、委託、賃借等の継続的な見直し
人件費比率	78.2%	89.9%	94.7% (95.4%)	・時間外勤務の縮減等、人件費の削減に向けた取組 ・上記収益性の向上に向けた取組
臨床研修医数	5	2	2	・研修プログラムの充実、協力型病院との連携 ・職場・居住環境、待遇の向上
看護学生の実習受入数	1,371	1,511	1,400	・受入体制の充実(学生指導者の育成、休憩室等受入設備の確保) ・看護学校への看護師講師派遣
メディカルオータムスクールの開催	1	1	1	・住民参加のイベント実施、出前講座の開催等、地域住民に必要とされる病院づくり ・現場の医療を伝える(医療の世界を目指すきっかけとなる)コンテンツの提供
eーナース出前講座等の実施	23	26	24	・住民参加のイベント実施、出前講座の開催等、地域住民に必要とされる病院づくり
志摩地域救急医療合同会議開催件数	5	4	4	・地域医師会、病院、行政機関等との連携による地域救急医療体制の確立 ・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実
救急外来委員会の開催	12	12	12	・院内各セクション及び救急隊参加による救急外来の運営に係る検討 ・救急受け入れ体制の検証・検討
医療安全委員会の開催	12	12	12	・各セクション参加による医療安全の充実に向けた検討 (ヒヤリハット検討・協議、院内ラウンド等)
指定団体からの医師の前倒し派遣人数	—	—	2	・現診療体制の回復を図るための指定団体からの支援要請 ・移行に向けての院内の職員体制づくり ・移行に係る医師会、医療機関等院外との調整
専門資格新規取得者数	4	7	4	・研修会・講習会参加、資格取得支援(研究研修費の効率的配分) ・院内研修会等の開催
TQM活動参加サークル数	6	6	6	・各セクション及びセクションを跨いだTQM(小集団)活動の実施 ・院内の課題検討、職員提案等に対するワーキンググループの設置 ・対話(フリートーク)の推進

※H23目標値の括弧書きは、平成23年度当面の運営方針の目標値を見直した場合における同目標値

【所管事項説明】

2 平成22年度病院事業決算の概要について

(1)-1 収益的収支

(税抜きベース、金額:百万円、比率:%)

	H21年度	H22年度	H22-H21	H21対 比率
病院事業収益	17,689	18,110	421	102.4
医業収益	13,714	14,029	315	102.3
入院収益	9,784	10,077	293	103.0
外来収益	3,615	3,642	27	100.7
その他医業収益	315	310	▲ 5	98.3
医業外収益	3,975	4,081	106	102.7
うち一般会計繰入金	3,744	3,876	132	103.5
特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	18,706	18,665	▲ 42	99.8
医業費用	17,402	17,465	63	100.4
うち給与費	9,693	9,849	157	101.6
うち材料費	3,431	3,302	▲ 130	96.2
うち経費	2,817	2,893	76	102.7
うち減価償却費	1,382	1,335	▲ 47	96.6
医業外費用	1,169	1,065	▲ 105	91.1
うち借入利息	750	641	▲ 109	85.4
特別損失	135	135	0	100.0
経常損益	▲ 883	▲ 420	463	-
当年度純損益	▲ 1,018	▲ 555	463	-

経常損益では4億2,000万円の赤字(前期比約4.6億円の赤字減)

純損益では5億5,500万円の赤字(前期比約4.6億円の赤字減)

(1)-2 経常損益の病院別内訳

(百万円)

	H21年度	H22年度	H22-H21
総合医療センター	▲ 371	349	719
こころの医療センター	276	289	13
一志病院	▲ 11	45	55
志摩病院	▲ 778	▲ 1,103	▲ 325
経営室	0	0	0
合計	▲ 883	▲ 420	463

【所管事項説明】

(1)－3 患者数動向

(単位:人)

	入院				外来			
	H21	H22	増減	比率	H21	H22	増減	比率
総合医療センター	102,564	107,623	5,059	104.9	141,164	137,466	▲ 3,698	97.4
こころの医療センター	122,468	121,887	▲ 581	99.5	56,551	60,071	3,520	106.2
一志病院	11,552	12,721	1,169	110.1	20,178	22,646	2,468	112.2
志摩病院	89,793	73,165	▲ 16,628	81.5	82,456	74,348	▲ 8,108	90.2
合計	326,377	315,396	▲ 10,981	96.6	300,349	294,531	▲ 5,818	98.1

(1)－4 診療単価の状況

(単位:円、%)

	H21年度	H22年度	H22-H21	H21対比率
入院単価	29,976	31,950	1,974	106.6
外来単価	12,037	12,367	330	102.7

(2) 資本的収支

(金額:百万円、比率:%)

	H21年度	H22年度	H22-H21	H21対比率
資本的収入	3,125	2,383	▲ 742	76.3
企業債	2,125	1,326	▲ 799	62.4
国庫補助金	1	0	▲ 1	0.0
県費負担金	885	951	66	107.4
その他	114	106	▲ 8	93.1
資本的支出	3,605	2,927	▲ 679	81.2
病院増改築工事費	37	12	▲ 25	32.7
資産購入費	341	1,365	1,025	400.6
企業債償還金	3,199	1,522	▲ 1,678	47.6
長期貸付金	28	27	▲ 1	97.5
資本的収支	▲ 480	▲ 543	▲ 63	-